

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スポーツによる村民の健康推進の拠点整備
事業主体 (連絡先)	奥木曽グリーンリゾート株式会社 長野県木曽郡木祖村菅 2857-16
事業区分	②保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,090,500 円 (うち支援金：1,847,000 円)

事業内容

木祖村村民が年をとっても元気で、活力を持って働くことのできる環境整備が持続可能な地域づくりに重要である。

多くの村民が集まるこだまの森にボルダリングとスラックラインを設置することにより、村民がスポーツにアクセスしやすい環境を整え、身体を動かす楽しさ、気持ちよさを体験してもらい、スポーツを楽しむ健康をテーマとした施設運営を行う。

- ・こだまの森野外音楽堂のステージ内壁 25 m²の区間にボルダリングの壁を設置。
- ・4mのスラックラインを2台設置
- ・大人も子どもも営業期間中は無料で利用できる施設とする。



【ボルダリング壁の一部】

【目標・ねらい】

- ① 村民の健康増進
- ② 村民と旅行客の交流
- ③ 雨天時の対策
- ④ 村民利用者数の増加

事業効果

- ①設置後多くの村民が利用に訪れており、こだまの森閉園後も約200人の村民が利用に訪れ、健康増進に取り組んでいる。
- ②こだまの森の目玉施設となり、地域住民が集まることで、スポーツを通じ、旅行客との間に交流が生まれる。
- ③こだまの森の野外音楽堂の内壁に設置した事により、雨天時や夜間でも利用できる施設とすることができた。
- ④ボルダリング・スラックラインの設置は話題性があり、村民利用者数が前年度より16%増加した。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・30年以上の課題であった悪天候時でも利用可能な施設を作る事ができ、村民の健康増進につながった。
- ・村民の利用者数が目標より11%増加。

今後の取り組み

ボルダリングやスラックラインを始めとした様々なスポーツを通じてこだまの森に地域住民が集まり、旅行者との間に交流が生まれる。旅行者は地域住民と交流する事により、その地域をより魅力的に感じ、リピーターに繋がります。施設はもちろんの事、地域経済に波及効果をもたらす事が可能となる。

スポーツツーリズム・ヘルスツーリズムといったスポーツや健康をテーマとした滞在型のプログラムを構築し、地域住民を巻き込んだ施設運営を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある